


第255号
2025年3月1日

日本大学鶴ヶ丘高等学校 広報部
東京都杉並区和泉2-26-12
TEL 03-3322-7521 (代)
<https://www.tsurugaoka.hs.nihon-u.ac.jp>



第2学年沖縄修学旅行

学 校 行 事 《 第3学期 》

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1月8日 始業式 | 13日 芸術鑑賞会 |
| 9日 2年 実力養成講座(～2月22日) | 14日 1・2年 総進コース 日大チャレンジ模試 |
| 15日 2年 総進コース 志望理由書講座 | 21日 3年生を送る会 |
| 18日 実用英語技能検定(1・2年全員受験) | 3月1日 第74回卒業証書授与式 |
| 20日 3年 大学入学共通テスト自己採点 | 2日 ブライトン語学研修(3年生希望者・～17日) |
| 22日 推薦入学試験(総進・特進) | 4日 1・2年 学年末試験(～7日) |
| 23日 1年 特進コース 記述模試 | 9日 新入生招集日 |
| 2年 特進コース 記述模試(～24日) | 10日 1・2年 答案解説授業(～11日) |
| 25日 総合型・学校推薦型選抜 合格者報告会 | 11日 一般選抜合格者報告会 |
| 29日 2年 総進コース 志望理由書サポート | 19日 令和6年度修業式 |
| 2月6日 2年 特進コース | 22日 春期外部特別講座(～27日) |
| 大学入学共通テスト模試(～7日) | |
| 10日 第1回一般入学試験(総進・特進) | |
| 11日 第2回一般入学試験(総進・特進) | |

令和6年度 第74回卒業証書授与式

卒業おめでとう

第七十四回卒業証書授与式が、令和七年三月一日（土）、本校体育館にて挙行された。三八七名（男子一七七名、女子一一〇名）の卒業生が、数々の思い出と未来への希望を胸に新たな一歩を踏み出した。

式次第 一

- 開式
国歌斉唱
卒業証書授与
総代 望月 桜乃（鶴川二中）
日本大学学長賞（学業部門）
高畑 稟（南菅中）
日本大学学長賞（スポーツ部門）
中川 颯真（瑞雲中）
優秀賞 学術・文化部門（団体）
代表 鳥倉 優月（宮内中）
優等賞
代表 塚本 桃々（堅川中）
皆勤賞
代表 天谷 瑠那（府中九中）
校長賞（皆勤賞受賞者の保護者）
代表 天谷 由美様
生徒会功労賞
代表 池田 倫（鳥山中）
学校長式辞
川原 容子校長
学長祝辞
関 泰一郎学長
学校から卒業生へ記念品贈与
代表 小田 晴海（忍岡中）
卒業生から学校へ記念品贈呈
代表 宮崎 いちは（松が谷中）

同窓会から卒業生へ記念品贈与

代表 長尾 歩実（調布七中）

桜園会から卒業生へ記念品贈与

代表 山根 千明（中野島中）

在校生代表送辞

星 ひかり（国分寺三中）

卒業生代表答辞

村上 統美（北町中）

卒業生保護者代表謝辞

市橋 俊規様

校歌斉唱

閉式

各賞受賞者

【日本大学からの表彰】

日本大学学長賞 学業部門

H 高畑 稟（南菅中）

日本大学学長賞

スポーツ部門（個人）

A 中川 颯真（瑞雲中）

E 尾形 薫子（花小金井南中）

優秀賞 学術・文化部門（団体）

放送部

優等賞

A 小田 晴海（忍岡中）

A 山根 千明（中野島中）

C 望月 桜乃（鶴川二中）

D 池田 倫（鳥山中）

F 天谷 瑠那（府中九中）

F 塚本 桃々（堅川中）

G 宮崎 いちは（松が谷中）

H 高畑 稟（南菅中）

J 長尾 歩実（調布七中）

J 千葉 優依（由木中）

【本校からの表彰】

皆勤賞（校長賞）

※「」内は校長賞・皆勤賞受賞者の保護者に贈る

A 大澤 瑞希（向陽中）（文）

A 小山 瑞季（東村山二中）

B 秋山 和輝（調布六中）（弘子）

B 秋吉 咲朋（明豊中）（加奈）

清水 芳将（篠崎中）（由香）

鈴木 美優（堀切中）（恭子）

鈴木 麗菜（多摩中）（美樹）

中村 佳春（砧中）（かおる）

C 飯島 快成（荏原一中）（秀美）

C 巖崎 紗那（枳形中）（重貴乃）

鳥倉 優月（宮内中）（未央）

正條 杏月（杉森中）（美樹）

守屋 ずず（喜多見中）

矢吹 怜（武蔵野一中）（由美）

D 出村 菜々（忍岡中）（郁子）

D 太田 州（足立四中）（あかね）

E 田中 紗葵（七生中）（恵子）

F 天谷 瑠那（府中九中）（由美）

G 市橋 龍齊（志村一中）（陽子）

久保 真慶（福生一中）

中村 桃萌（深川二中）（裕子）

橋本 翼（福島中）（華絵）

原 美優（新町中）（育子）

H 小嶋 心温（多摩落合中）

佐々木 華（堅川中）（純子）

高畑 稟（南菅中）（有紀子）

高山 彩乃（西中原中）（規子）

豊住 葵（赤塚三中）（さやか）

I 北畠 清美（赤塚三中）（琳琳）

東野 瑛太（瀬田中）（由佳）

西原 夏輝（谷本中）（美香）

J 武田 なつめ（用賀中）（紀子）

山崎 響樹（緑町中）（生子）

山本 裕夢（砧中）（真由美）

精勤賞

A 境 翔汰（山内中）

関 珠季（松壽中）

B 田村 優妃（中瀬中）

渡邊 林檎（赤坂中）

B 黒澤 壮太（七生中）

高木 珀斗（深沢中）

濱田 裕大（調布中）

C 中 心優（御幸中）

中田 煌輝（相原中）

D 山田 華鈴（三鷹一中）

近藤 祐槻（大坂上中）

E 生沼 美紗（府中六中）

F 大塚 美妃（矢口中）

倉兼 理摘（西高津中）

黒柳 帆香（高津中）

野田 優香（開進四中）

G 楠美 優美（清明学園中）

廣澤 奈祐多（新曽中）

H 宮崎 いちは（松が谷中）

I 宮本 准之介（高南中）

小針 大輝（調布五中）

酒巻 りん（鴻巣西中）

高見 光希（八幡中）

中村 柊哉（立川一中）

J 渡辺 ほなみ（晴海中）

生徒会功労賞

- 生徒会長
F 村上 統美(北町中)
- 生徒会副会長
B 河野 里奈(三鷹二中)
- 学級委員会
D 前田 雅仁(三鷹一中)
- 風紀委員会
G 松原 敬太郎
(東久留米東中)
- 厚生委員会
A 吉野 朔人(三鷹一中)
- 部活動運営委員会
A 高下 達也(青葉台中)
- 選挙管理委員会
C 井上 綾乃(三鷹二中)
- 鶴ヶ丘祭実行委員会
D 直吉 淳樹(浅間中)
- 体育祭実行委員会
H 海老澤 頼蔵(府中三中)
- 編集委員会
J 白土 結衣香(南六郷中)
- 図書委員会
F 野村 耀生(桜道中)

部活動【体育系】

- スキー部
H 牛山 陽登(西生田中)
- 陸上競技部
B 荒井 勇介(狭山西中)
- 野球部
G 小田桐 拓真(住吉中)
- サッカー部
H 須賀 涼汰(第三砂町中)
- 男子バスケットボール部
E 亀井 康成(大泉学園桜中)
- 女子バスケットボール部
C 平良 想(府中五中)
- 男子バレーボール部
C 松田 遼(清瀬中)
- 女子バレーボール部
E 阿藤 和彩(府中六中)
- アメリカンフットボール部
I 関根 那瑠(井田中)
- テニス部
J 小俣 智己(宮上中)
- 男子ソフトテニス部
B 清水 芳将(篠崎中)
- 女子ソフトテニス部
F 高岡 紗楽(赤塚三中)
- バドミントン部
A 佐々木 総太(奈良中)
- 剣道部
C 望月 桜乃(鶴川二中)
- 弓道部
J 砂子 健太(小金井一中)
- A 儀邊 勇汰郎(井田中)
- G 横山 苑伽(馬込中)

○空手道部

- C 中田 煌輝(相原中)
- H 寺島 理奈(小松川一中)
- ウエイトリフティング部
A 中川 颯真(瑞雲中)
- E 尾形 薫子(花小金井南中)
- 部活動【文化系】
- 写真部
C 樋口 奈央子(大宮北中)
- 放送部
C 井上 綾乃(三鷹二中)
- サイエンス部
J 原田 辰輝(北沢中)
- 情報部
A 大澤 瑞希(向陽中)
- 英語部
C 田邊 葵(日吉台中)
- 演劇部
I 渡邊 心(千葉花園中)
- 吹奏楽部
G 高田 りの(戸越台中)
- パントムワリング部
H 益子 みのり(大阪港南中)
- カラーガード部
J 土田 桃子(西宮中)
- 茶・華道部
I 永野 陽菜(有明西学園)
- 料理部
I 坂口 玲来(浅草中)
- 書道部
E 田中 紗葵(七生中)

同好会

- ダンス同好会
A 関 珠季(松濤中)
- 団体功労賞
放送部
テニス部
ウエイトリフティング部
男子バレーボール部
空手道部
スキー部

【その他からの表彰】

- 東京都知事より表彰
東京都知事賞
(副賞 東京都私学財団賞)
J 長尾 歩実(調布七中)
- 日本私立中学高等学校連合会より表彰
会長表彰
F 村上 統美(北町中)
- 東京都高等学校体育連盟より表彰
体育優良生徒
A 中川 颯真(瑞雲中)
- E 尾形 薫子
(花小金井南中)
- 優秀校
ウエイトリフティング部(女子)
空手道部(女子)
- 優秀選手
D 稲葉 啓太(品川学園中)
- E 尾形 薫子
(花小金井南中)
- 東京都高等学校文化連盟より表彰
文化活動優良生徒
C 島倉 優月(宮内中)
- D 柱本 周大(稲城六中)
- 杉並区より表彰
杉並区スポーツ栄誉顕彰
A 中川 颯真(瑞雲中)
- E 尾形 薫子
(花小金井南中)
- D 佐藤 弘夏(神代中)

素直な心

学校長 川原 容子



卒業おめでとうございます。

入学時、どんなことを目標に掲げていましたか？

楽しく挑戦してやり抜きましたか？もちろん、厳しく辛いこともあったのは想像ですが、あなたたちの姿や日々の活動から、三年間良く取り組んできたと感じています。

特に部活動・委員会・行事などを通じて、人を慮る気持ちを持てるようになっていくことは、とても素晴らしく、尊いと思います。

本校は『文武両道の実践』を学校教育目標に掲げています。

限られた時間の中で、やりくりをして、文と武を求めていくことは、言うほど簡単なことではありません。しかし、あなたたちは自分と向き合い努力してきました。

これから漕ぎ出す世界には、経験したことがないような厳しさも待ち受けています。

ています。希望や夢は打ち砕かれ、心が折れそうになることもあります。

しかし、勇気を奮い起して立ち向かい、鶴高での三年間を糧にすれば、道は必ず拓けます。

人の真価は、窮地に陥った時に問われるものです。

窮地に陥った時、目の前のことに囚われ、素直さを忘れていくことに、気付かされたことが、私自身も幾度かあります。何か一つでも囚われてしまうと、物事を正しく判断できなくなります。

何事をするにしても、『素直な心』が一番大切だと思います。

素直さを失うと、卑屈になり、心が曇ります。素直な心は、真実を映し出す鏡です。

未来の社会は、良くも悪くも劇的に変わり、様々な脅威にさらされていくと予想できます。

しかし、一万年以上前からほぼ変わらない素晴らしい脳を持つ人類です。

各自がつくり出してしまった課題や困難にも、『素直な心』を持って立ち向かえば、必ず我々の叡智で解決出来ないことはないと思っています。

人類の抱える課題についても、世代は違いますが、お互い一緒に歩きながら考えていきましょう。

改めて、あなたたちと出会えたことに、心から感謝するとともに、幸せになることを願っています。

言葉の花束



縁に感謝

学年主任 齋藤 純（理科）

ビッグバンから約一三七億年、地球が誕生して約四六億年、その時間に比べると私たちの生きている時間は一瞬と言ってもいいでしょう。そんな一瞬のうちの三年間をあなた達と一緒に過ごせた縁に感謝しています。今まで出会った方々もこれから出会う方々もきっと何かの縁があつて繋がっているのだと思います。大人になるとひとりであることが増えるので全て自分で解決できると考えがちですが、困った時は良い縁を頼ってアドバイスをもらってください。楽しい思い出を本当にありがとうございます。充実した人生を送れるよう心から祈っています。

はじまりは、いつもチャンスだ！

A組担任 鹿野 雄大（数学科）

入学式の日、黒板に書いた言葉である。数学の参考書「チャート式」の巻頭言の言葉でもある。私はどこで間違えたのか、わからないところがわからない。こんなときやることはただ一つ。ひたすら前に戻ることだ。焦らずにじっくりと。もう同じ間違いをしないように。時には全体を見渡し、時には複数の手法を組み合わせ、新しいやり方を覚えて前に進んでいく。これからは答えのない問いに多く直面するだろう。学び続け、困難を乗り越える力を養い、前に進んでいこう。「はじまりは、いつもチャンスだ！」四月からスタートする君たちの新しい旅路に幸あれ。

ご卒業、おめでとうございます

B組担任 東條 剛（国語科）

皆さんとともに今日この日を迎えられたこと、大変喜ばしく思っています。

「若き日の思いは、時の試練にも耐えうる」という言葉があります。

鶴高で抱いた夢や希望、経験は決して色褪せることなく、これからの君たちの道標となることでしょう。その道標を頼りに、大空高くまで羽ばたいていってください。

皆さんのこれからの活躍を心から願っています。ご卒業おめでとうございます。

卒業おめでとう！

C組担任 加藤 寛典（英語科）

高校生活を振り返り、皆さんにとってどのような時間だったでしょうか。仲の良い友人や楽しい思い出は、高校時代ならではの宝物です。友人や思い出は日常を彩り、心を豊かにしてくれます。それらはお金だけでは得られない貴重なものです。これから慌ただしい日々が待っていても、大切なものを忘れず、充実した人生を歩んでください。皆さんの門出を心より祝福します。

時

D組担任 大館 堯春（数学科）

今の君は、思考力・吸収力・身体能力など様々な分野で人生のピークを過ごしている。今の私が新しいことに挑戦しても、同じことを同じ時間だけ十八歳の自分が挑戦したらもっと多くの能力を手に入れるだろう。そう考えれば、今の君が無駄に過ごした一日と、数十年後の君が無駄に過ごした一日の価値は同じだろうか。大人は皆「今しかできないこと」の強要をしてくるだろう。そろそろこの意味が理解できたかい。少なくとも今日の君は明日の君より若い。幸運を。

人との出会いを大切に

E組担任 井上 陽介（地歴公民科）

卒業おめでとうございます。三年間の高校生活は、いかがでしたでしょうか。思い返してみると、たくさんの出来事が思い出されるのではないのでしょうか。そして、色々な経験を積み、皆さんは成長してきたと思います。大学に行くと、世界がさらに大きく広がります。直接人と人々が触れ合う出会いを大切にしてください。多様な価値観や背景を持つ多くの人との交流を通じ、さらに幅広い経験を積んで豊かな人生を築いていきましょう。今までの友人も未来の友人も大切に。

幸せになつてね

F組担任 齋藤 直子（英語科）

皆さん一人ひとりの行動が、とても愛おしく感じられる三年間でした。それでも、間違ったときは全力で叱り、良いことをしても大きくは褒めることはなかったと思います。これからの人生、幸せはただ手に入るものではなく、自分で追い求めるものです。皆さんの未来が光り輝くものであることを、心から願っています。

最後に、私の大好きな映画より、

"You got a dream... You gotta protect it."

it

If you want something, go get it."

卒業おめでとう。

社会へのスタートライン

G組担任 津田 寛行（保健体育科）

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。「規制から自制へ」これから君たちが生き抜く社会は、思い描く以上に困難です。人生は甘くない。学生時代の苦労など比較できないことばかりです。また、自由の裏には常に責任が問われ、一度の失敗で信頼を失うことも沢山あります。だからこそしっかりと志を持って、周りに流されずに謙虚に生活してください。

何事も簡単に手に入るものは、簡単に手放しがちです。逆に困難に立ち向かい苦労して手にいれたものは、大切に守ります。あなたの人生ですから、人の評価を気にしないで、勉強、仕事、恋愛、家族、これから先の人生でラクをしないで、じっくりと丁寧に過ごしてくださいね。また、一生懸命頑張っている人には必ず味方や仲間が現れます。上手くいかないことがあっても下を向かず、コツコツと積み重ねてください。

三年生の皆さんと出会えたこと、また素敵な青春に携われたことに心から感謝しています。三年間楽しい時間をありがとうございました。是非素敵な大人になって、鶴高に遊びに来てください。皆さんに会えることを楽しみにしています。改めてご卒業おめでとうございます。

最初の質問

H組担任 松田 房之（芸術科）

今日、あなたは空を見上げましたか。空は遠かったですか、近かったですか。雲はどんなかたちをしていましたか。風はどんな匂いがしましたか。あなたにとって、いい一日とはどんな一日ですか。

「ありがとう」という言葉を、

今日、あなたは口にしましたか。

時代は言葉をないがしろにしている—あなたは言葉を信じていますか。

（長田 弘）

言葉を信じて、人を信じて、自分を信じて。

未来は必ず明るいのです。

あなたの幸せをずっと願っています。

自分に自信を失くした時の処方箋

I組担任 千葉 佑佳（国語科）

基本的に人間は視点でしか物が見えない。他人の目で物事を捉えることはできない。いろんな人に優しくありたいけど、見えている範囲で動けばどうやっても自分本位だ。だから、本を読む。本を読むと、時間と空間を超えて誰かの目で世界を見ることが出来る。他者の世界を少しでも理解できる。そうやって小さな部屋から違う世界に飛び出すことは、君にはいつだって可能だ。そう考えればどんどん新しい人に

出会って刺激を受けることもじつと部屋で本を読んで世界を見つめることも、実は本質的には同じだ。

一人で静かに何かを考えたりするのも、君には大事な時間だよ。一番身近な他者は自分自身だ。自分と向き合うことで君は、世界の深いところに到達する。

一見するとキラキラした他人の生活に目を奪われて卑屈にならず、君は君のやり方で自分の世界を広げてくささい。

水が好きなら

J組担任 高間 大輔（英語科）
If you like water, you already like 70% of me. サンキュー 探究！

卒業おめでとう！

副担任 徳田 あゆみ（国語科）
皆さんにとってどのような高校生活でしたか？皆さんと出会うことができ一緒に学べたことは、私にとってかけがえない思い出となりました。これからはもっと沢山のひととの出会いがあると思います。どんな出会いにも一つとして無駄なものはなく、影響を与えて変化を与えてくれる素敵な出会いのはずです。出会えた「人」との縁に感謝して大切にしてください。

きつとあなたのご両親が一番のサポーター。家族、友人知人、先生方

……沢山の応援団に囲まれ愛されているあなた「自身」のことも大切にしてくださいね。信じる道を一直線に突き進み、素晴らしい明日を育んでいきますように。鶴高応援団の一人として心からあなたの幸せを祈っています。

祝・卒業！

副担任 桐田 知典（地歴公民科）
鶴高での三年間はいかがでしたか？いろんなことがあったと思います。その度に色々な人から助けられたかと思っています。フィナンランドのことわざにこんな言葉があります。

「道を聞く人は、迷わない。」
これからの人生で困った時は、一人で悩まないで、人に頼る勇気を持ってください。
社会に出るといろんなつまづきにくわすと思います。そんな時にダヴィンチの言葉を思い出してください。

「どこか遠くへ行きなさい。もっと全体が眺められます。」
その物事から離れてみると、意外とつまづいていることが小さく見えてくらないで、いろんな面から見てみてください。

あなたの人生の主役は「あなた」です！思いっきり楽しんでください！

次の道に進む人たちへ

副担任 林 優希（地歴公民科）
これからの皆さんにとって、「良かったな」とか「嬉しいな」とか、そういう瞬間や経験がたくさん訪れるといいなと思っています。つまり、幸せでいてほしいです。

ただ、「良かったな」「嬉しいな」も、その反対にある「辛いな」「悲しいな」などの経験があるからこそ、感じられるものですよね。この三年間のなかにもきつと、「辛い」や「悲しい」があったことでしょう。自力で乗り切ったり、助けてもらったり。よく頑張りました。よく頑張っていますね。

すべての経験や感情が、皆さんの人生を彩りますように。たとえ意味を問う時間が長くなったとしても、「あの辛いも悲しいも、人生のなかの『まあよかった』に繋がるものだったのかな」と、いつか思えますように。

皆さんとご縁のあった一人として、そつと願っています。
自他への思いやりを忘れなければ、そのときは必ず訪れるんじゃないかな。

鶴高の三年間は何色でしたか？

副担任 新藤 隆夫（数学科）
皆さんの鶴高三年間は何色でしたか？

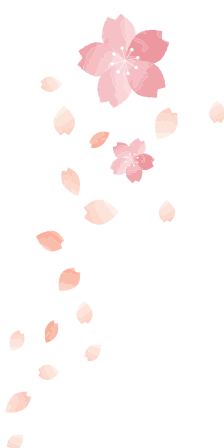
ボクの高校時代は、病氣と闘い、進路に迷い、恋に溺れ、受験に敗れた暗

黒の三年間でした。でも、鶴高で過ごした三十八年間は薔薇色でした！
それは皆さんと出会えたから。

これから色々な経験をして目の前が真つ暗になることがあるかも知れませんが、人間万事塞翁が馬。驕らず悲観せず頑張ってください！
ボクも皆さんと一緒に卒業できて幸せです♡

素直で謙虚な気持ちをいつまでも

副担任 谷口 富太郎（英語科）
これからは、これまでの学生生活とは違い、一日中学校に拘束される生活ではなくります。自由な時間は増えると思いますが、その時間をどのように使うかによって、これからの人生が変わっていきます。また、様々な地域から集まる人たちとの出会いもあるでしょう。ぜひ、多くの人と交流し、価値観の多様性を肌で感じてください。そして、いつまでも素直で謙虚な気持ちをもち続けてください。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」



卒業生の言葉

―三年間の思い出
そして後輩たちへ―

大人になんかなるもんじゃ
ないけどケセラセラ

三年I組 渡邊 心（花園中）



これは私の好きな曲の一節で、「大人にならなければ」と焦っていた私を立ち止まらせてくれた言葉です。この曲を初めて聞いた高校一年生の頃の私は、「大人になる」ということは、礼儀を身につけたり、社会の型にはまったりすることだと思い込んでいました。しかし、本当はもっと柔軟性があることだと気付きました。これまでの経験を土台にしながら、興味を持ったものへ自由に挑戦していくこそが「大人になる」ということではないか、と思えるよ

うになりました。

この三年間、鶴高で私が得た大きな学びは、「上手いかわないことがあってもいい」と思えるようになったことです。例えば、学校代表として出場したスピーチコンテストでは満足のいくスピーチができませんでした。また、部長として演劇部を運営していく中で、後悔する場面を何度も経験しました。

それでも、これらの上手いかなかったことは「0点」ではありません。スピーチに向けて努力した時間や、準備不足を実感できたことは、次につながる貴重な経験となりました。演劇部の仲間たちと困難な状況を乗り越え、助け合えたことも、とても良い思い出になっています。

こうした経験を通じて、成功にも失敗にも価値があることに気が付き、様々なことに挑戦する意欲が湧いてきました。鶴高での学びが、これから様々なことへ自由に挑戦する力を与えてくれたと信じています。そして私らしい「大人」を目指していきたいです。

楽しく充実した三年間を支えてくださり、本当にありがとうございます。

進学先…日本大学芸術学部演劇学科

演技コース

一人じゃない

三年G組 宮崎 いちは

（松が谷中）



私の高校生活は、自分を成長させられた。また、周りの人の大切さに気づくことができた、とても充実したものだったと感じている。

私が入部した吹奏楽部は思っていた以上に忙しく、家にいる時間よりも部活の活動時間の方が長いという生活が続けてきた。ここで壁となってくるのが勉強と部活の両立である。よく、時間は全員に平等に与えられていてどう使うかは自分次第である、と聞く。そこで私は自分が選んだ部活の忙しさを勉強の言い訳にしないよう、暗記物は就寝前に確認し、翌朝通学中の電車で復習する生活を心掛けた。また、朝早く登校し、自習するなど、時間を上手く使えるよう計画を立てながら勉強を習慣化

させた。

私には自分を奮い立たせるために聴く曲があり、その曲にはこのような歌詞がある。

「どうせ跳ぶなら高く」

やるからには中途半端にはやらない。跳べるだけ高く跳んでやろうという気持ちで勉強と部活に取り組んできた。その結果、勉強では良い成績を収めて自分の行きたい進学先に進むことができた。部活では最後のコンクールで金賞や最優秀賞をいただくことができた。しかし、いつも強気でいられたわけではなく、どうしても逃げ出したい時もあった。そんな時、私を踏ん張らせてくれたのは辛いことも楽しいことも共に経験してきた友達である。私のやる気がなくなっていることを察して話を聞いてくれたり、私に足りないことを気づかせてくれたりした。一人じゃないと思えた事は本当に力になった。一緒に戦ってきた友達に感謝を伝えたい。

また、友達だけではなく先生や家族にも心から感謝したい。自分の進路を否定することなく受け入れてくれたり、母は毎日お弁当を作ってくれたり、私が充実した高校生活を送れたのもさまざまな人に支えられていたからだ。

自分を見てくれている人は必ずいる。そのことを忘れずにこれからも全てに全力で取り組んでいきたい。

進学先…日本大学芸術学部
デザイン学科

目標に向かって

三年C組 島倉 優月（宮内中）



私は高校三年間、様々な人に支えられ、充実した日々を送ることができた。まず、私には高校入学前から獣医師になるという将来の目標があった。それに向かって、一年生の頃から学業はもちろん、部活動や委員会など何事にも全力で取り組んできた。

学業に関しては、自分の納得のいく結果を得られるように常に努力していた。具体的には、毎回の授業で少しでも理解できない部分があった

時、友達や先生に質問し、その日のうちに解決することを心掛けた。自分の得意な範囲、苦手な範囲を分析して優先順位を決め、テストに向けて自分に合った学習計画を立てることを意識して行ってきた。こうした日々の積み重ねが定期テストの点数に繋がり、希望した大学への推薦合格に繋がった。今後も、コツコツと努力することを大切にしていきたい。

三年間所属していた放送部では、多くの経験と学びを得ることができた。その中でも、部活の友達と共に、大会に向けて作品を制作した経験が一番心に残っている。チームでたくさん話し合い、試行錯誤して作った作品が東京都大会一位に選ばれた時の喜びは今でも鮮明に覚えている。

最後に、私がこうして自分の目標に向かって挫折せずに一歩前進できたのは、親身になって支えてくださった先生方や、応援してくれた友達、背中を押してくれた家族のおかげだと思う。たくさんお世話になりました。ありがとうございます。大学でもまだまだ目標に向かって頑張りたい。

進学先…日本大学生物資源科学部

獣医学科

何事にも全力で

三年A組 境 翔汰（山内中）



鶴高では、思い出の詰まった三年間を過ごした。

新たな環境に慣れるまで大変だった入学当初であったが、新たな友達にたくさん救われた。近くの席の人たちがとても面白く、すぐに打ち解けることができた。大谷翔平選手の試合速報で一喜一憂するクラス、教壇の上で何人かが歌って盛り上がるクラス、男女両方の声が飛び交う賑やかなクラス。いつどの階どの棟に居ても楽しい鶴高だった。そんな鶴高生だが、休み時間が終わると授業に集中して黙々と問題に取り組んでいた。このようなメリハリがあったからこそ、鶴高の三年間は楽しかったのだと思う。鶴高をひとことで表せば『全力で何事にも取り組む』という言葉がふさわしいと感じている。

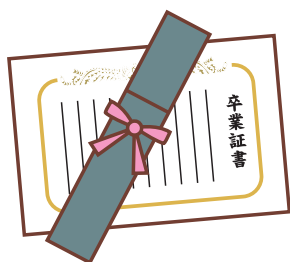
る。所属するサッカー部では、困難な状況に直面した際、対話をすることを大切にしていた。色々な意見に耳を傾けることで新たな視点を持ち、その壁を乗り越えることで、対話の重要性に気付かされた。

また、後輩達には、鶴高の『様々な空間』を楽しんでほしい。高校生活は、自分達で楽しみを見つけ、成長することだってできる。多種多様な人と関わり、対話をして様々なものを身につけて欲しい。全力で取り組まないことがカッコイイと思ってしまう年頃かもしれないが、その行動は後から振り返るともったいない時間に感じてくるはずだ。とにかく全力で！

本当にあっという間な三年間でしただ。寂しい気持ちでいっぱいですが。ご指導くださった先生方、後輩、みんなありがとうございます。

進学先…上智大学理工学部

情報理工学科



第2学年沖縄修学旅行

令和6年12月に実施された2学年の修学旅行は「平和学習」と「自然・環境理解」を大きな目的として実施された。5日間のおもな行程は以下の通りである。

1日目

沖縄本島で平和学習（沖縄戦）
ひめゆり平和祈念資料館、旧海軍司令部壕

2日目

沖縄本島で平和学習（米軍基地問題）、国際通り自主研修
Aコース 普天間基地見学
B Cコース 琉球大学でのグループワーク、
嘉数高台見学
Dコース 嘉手納基地フィールドワーク

3日目

石垣島または竹富島で自然・環境学習
川平湾グラスボート、やいま村、竹富島フォトラリー

4日目

石垣島、西表島、黒島等でのコース別体験学習（全7コース）

5日目

石垣島または竹富島で自然・環境学習
川平湾グラスボート、やいま村、竹富島フォトラリー

1年前から説明会を始め、2年次の1学期から現地とオンラインでつないだ事前学習にも取り組んできた。ひめゆり平和祈念資料館に奉納した千羽鶴は、修学旅行委員を中心に2学年の生徒全員で作成した。

じわじわと高まる修学旅行への期待は現地でピークに達した。沖縄の特異な自然環境に感激する声、初めて体験するアクティビティに歓喜する声、戦争の痛みや傷には声を失い、沖縄が抱える米軍基地問題では現状を知れば知るほど解決が困難であると気づき唸り声がこぼれる。まさに五感をフル稼働させ、全身で沖縄を味わった盛り沢山の修学旅行であった。

残念ながら天候に恵まれず東京かと思うほど寒い日もあったり、早朝に起床しすぐに移動が始まる盛り沢山のスケジュールの5日間であったが、体調不良者なく全行程を終えることができた。この修学旅行の実施に関わったすべての方々に心から感謝申し上げたい。

平和学習（沖縄戦・琉球大学）

中島 理愛（2H・中野七中）

私は平和学習の一環で嘉数高台と琉球大学に行きました。嘉数高台では普天間基地が一望できました。上空の飛行機の音が思ったよりも大きく、近所に住んでいる人は毎日飛行機の騒音を聞いているのかと思うと悩ましい問題だと思いました。また沖縄戦には全国の都道府県に加えて朝鮮からも兵士が徴兵されていたことを知り、驚きました。朝鮮から来た人は日本語もままならないまま、参戦させられていたのだと思うと申し訳ない気持ちになりました。「朝鮮の人は、たとえ米軍の捕虜になり拷問されても日本語が分からないため情報が漏れる心配はないから軍部にとって都合が良かった」という話を聞いて、本当に酷いことをしていたのだと思いました。

琉球大学では現在の基地問題について学びました。数年前、飛行機の部品が学校や保育園に落ちたという事件を聞きました。幸い怪我人はいなかったそうですが、もし誰かに当たっていたらと思うと恐ろしくなりました。なるべく学校等の上空は飛行しないという条約もあるそうですが、努力義務に過ぎないため実際には学校の上空を毎日飛行機が飛んでいるようでした。

沖縄に米軍基地があることは知っていたけれど、実際に見て感じたことは全然違いました。沖縄に行くまではどこか他人事のように思っていたけれど、沖縄に行くととても身近なことに感じました。基地については様々な意見もあるため、一概に米軍基地はあった方がいい、ないほうがいいとは言えないが、これからもこの問題を考えていかなければならないと思いました。

平和学習（沖縄戦）

上杉 遥音（2A・稲付中）

沖縄での平和学習を通じて、戦争がいかに多くの人々の命や生活を奪い、深い悲しみを生むものかを改めて知ることができました。ひめゆり平和祈念資料館での証言や展示は、ただの歴

史の事実ではなく、実際に生きた人々の苦しみとして強く心に刻まれました。平和は当たり前のもではなく、多くの犠牲の上に成り立っていると感じました。これからは日々の生活の中で、周囲の人と平和について考え、伝えていくことが大切だと思います。

平和学習（米軍基地問題）

野村 彰宏（2F・武蔵野一中）

米軍基地問題の平和学習にて、私は嘉手納基地周辺の影響について学びました。この日一番印象に残ったのは、戦闘機による騒音です。実際に聞いてみると、凄まじい音で驚きました。また早朝から夜まで断続的に騒音が続くため、現地の住民はこの音と共に暮らさないとはいけな

のが可哀想で仕方ありません。今でもアメリカ軍に有利な条件が維持され、国や現地の住民が大変な思いをしなければなりません。このような実態を知り、ただ可哀想と思うことでは済まされないと感じました。今はもう「戦闘機かっこいい」と純粹には思えなくなってしまいました。



石垣島(コース別体験学習・カヌー&マリン三種体験)

鈴木 萌希(2D・練馬区立中村中)

私はコース別体験学習にてカヌーを体験しました。カヌーをするのは2度目ですが、周りの景色も川幅も全く異なっていました。想像していたよりも過酷で何度も何度も木や他のボートにぶつかったりしましたが、無事に目的地に着きました。

カヌーの後は川に沿ってぬかるんだ道を歩くというものでした。一番深いところでは腰まで波が来てとても寒かったです。

午後は沖縄で一番楽しみにしていたと言っても過言ではないマリン体験でした。午前中はか

なり雨が降っていたのですが、午後にはすっきりと雨が止んだため、思いっきり楽しめました。3種類のマリン体験ではそれぞれ別の楽しみ方がありましたが水中に落ちそうになればなるほど、楽しかったです。下半身が全て水に浸かってるくらい乗り物から落ちかけたこともあり、スリル満点でした。ジェットコースターと海の両方を味わっている感じがしました。水飛沫で、目は染みて、口はしょっぱくなり、顔は乾くと塩が結晶化していました。マリン体験後は、すぐにシャワーを浴びました。12月でも寒さは感じず、貴重な体験ができて良かったです。

石垣島(コース別体験学習・西表島トレッキング)

青木 千紘(2E・神明中)

私は西表島でトレッキングをした。自然が豊かで、いままで感じたことの無い壮大さや、全てを飲み込んでしまうような力を感じた。人間は自然には敵わないと良く言うが、まさにこの自然には勝てないと思った。山を登っている

時に、水が湧いているところが沢山あって、とても綺麗だった。マリウドウの滝では、雨の影響もあり流量がとても多く、大きな音を鳴らしながら水が流れていてとても迫力があつた。滝を見ながらご飯を食べた。滝の音に癒されながら食べるお弁当はとても美味しかった。

石垣島(コース別体験学習・黒島研究所)

永瀬 拓未(2G・赤塚三中)

私は黒島を訪れて海洋研究所へ行った。3日目で沖縄の自然を眺めることはできたが、あまり詳しく学ぶ機会というのは少なかった。特に海の生き物のことはあまり知らず、学芸員の方のお話を聞くのがとてもおもしろかった。ウミガメの生態などについてだけではなく、実際に小さなウミガメを持ち上げたり、撫でることができた。更に体重28kgもある大きなウミガメを運んだり、大きさを測ったりするなど貴重な体験もできた。ウミガメだけではなく、沖縄に棲んでいるウツボやサメ、陸上にいる孔雀やヤドカリについても知ることができてとても楽しかった。

黒島研究所で伺ったお話で特に印象に残った

のは、絶滅危惧種のアオウミガメが同じく絶滅危惧種の海藻を食べている点だった。ウミガメの保護を重視しすぎた結果、ウミガメが異常に増え、その結果生態系のバランスが崩れているようで、環境(生態系)問題もとても難しい課題だと思った。

その日の午後は石垣焼づくり体験をした。石垣島の文化などを知る機会にもなった。実際、石垣島の人たちと話す機会はそれまで全く無かったが、お話を聞くと東京とは言葉が全く異なっていて興味深かった。おじいさんと話したときは、独特な方言にとっても興味を覚えた。

この日まで沖縄と言え、どちらかというところ軍事問題のことを私は意識していた。しかしこの日ウミガメたちの話を聞いて、生き物と自然の大切さも深く考えるべきだと感じた。

学年レポート

令和6年度 この一年

毎月の「ことば」と

共に振り返り―常時

第一学年主任 田口 裕基



◇四月のことば

《通学環境の変化に慣れよう!》

四月六日の入学式は曇り。鶴高を代表する雨男雨女三人衆が揃っているこの学年にしては、この天気は上々。幸先良さそう。

◇五月のことば

《一五二五家庭学習の習慣化》

四月のスタディーサポートの結果から、平日一時間三十分、休日二時間三十分という目標を立てた。九月のスタサポでの変化に期待!

◇六月のことば

《文武両道への挑戦》

文化祭での合唱コンテスト、その後の一学期期末試験、さらには本格的に活動するようになった部活動と同時進行でどれも手を抜かず全力投球させたい、という思いを込めて。

◇七月のことば

《一学期の総決算!!》

生徒、保護者、そして教員それぞれが激動の一学期を振り返り、夏季休暇を計画的に使い、二学期以降に繋げていきたい。

◇九月のことば

《学習モードへスマートスイッチ》

約二ヶ月ぶりに通常授業を受けるようになる九月初めがツライのは生徒・教員・保護者も一緒。自分だけではない、という大らかなキモチを持ちながら、焦らず急いでギアチェンジ。

◇十月のことば

《未来を拓く家庭学習一五二八》

九月のスタサポの結果から、本校一学年生徒の家庭学習時間不足がより深刻化している事実が判明。そこで国公立に現役合格した先輩の同時期の平均学習時間を目標に設定した。

◇十一月のことば

《「チリツモ」を実践》

二学期中間〜期末までは授業日数が五十一日もあり、日々の積み重ねが大きな差となることを自覚してもらいたいのので、この言葉を掲げた。

◇十二月のことば

《記憶より記録》

《未来を拓く家庭学習一五二八》

《「チリツモ」の実践》を実感してもらうために二学期中間試験以降、Case.の学習記録への記録の徹底を図ってきた。人の記憶は都合よく書き換えられるもの。高校三年間でどれだけ学習したのかを記録して、自分の抜け漏れの把握にも活用してほしい。

時間や体験を共有すること

第二学年主任 相沢 由美



「最初で最後 みんなで作ろうおっきな輪」

これは、修学旅行委員の生徒たちが決めた修学旅行のテーマである。この言葉を見たときから惹かれる思いがあったのだが、加えて発案者の生徒が「先生を含めた学年全体で仲を深めてつながりを増やして、学年全体の輪を大きくしたい」という目標と、これが達成されることで「三年での体育祭、文化祭、受験などの

学年で動く際に、協力して困難を乗り越える関係性をこの修学旅行で築きたい」という思いを学年集会で披露してくれた。まさに学年主任として自分自身が考えていたことであり、こうした思いを抱いてくれているいかにも鶴高生らしい四百五十名の生徒が目の前に行ることがこの一年の原動力であった。

ふりかえれば二学年で取り組んできたことは一人の力では成しえないことばかりであった。校外授業での飯盒炊飯とカレー作り、遊園地のアトラクションやパレードを再現した鶴ヶ丘祭、大玉転がしやクラス対抗リレー、応援合戦で盛り上がった体育祭、クラスの枠を超えて新しい経験をし、仲間がいたからこそ笑顔が絶えなかった修学旅行、そして三期に予定している学年企画。目的や目標を共有した二学年という大きなチームが挑めば、想像を超える成果を生み出すことを幾度となく実感してきた。

さらに学校行事だけでなく探究活動では、探究テーマを深彫りするため、チーム単位で一般企業または大学教授に取材に行くことを課し、アポ取りから実際の取材までを生徒だけで取り組ませた。

昨年度のこの時期は「世界は誰か

の仕事でできている」が学年のホットワードであった。これまでの鶴高生活から、生徒たちは舞台の表裏を問わず、誰かのために、社会のために、自然環境のためにみずからの力を尽くすことの意味を理解してくれているはずである。そんな生徒たちと過ごせるのもあと一年。最後の一年もまたかけがえない時間になるだろう。次年度に向けた準備が始まっている。

三年間を振り返って

第三学年主任 齋藤 純



新カリキュラムが適用された初めての学年のため心配なことも多くありましたが、生徒・保護者の皆様のご協力により無事に卒業式を迎えられました。本当にありがとうございます。

私が学年主任として意識していたことは三つあります。生徒が学校生

活を楽しく充実したものとなるように常に考えること、保護者とできるだけ情報を共有すること、学年の教員が仕事をしやすい環境を作ることです。生徒・保護者・教師の三者がよい関係であることで教育効果が高まると考えたからです。果たしてうまくできていたかどうかはわかりませんが、それを意識して臨んだ学年行事を少し振り返りたいと思います。

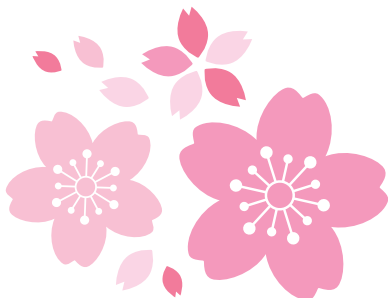
生徒諸君、覚えていますか？入学当初はまだ新型コロナウイルスが五類への移行前だったため、オリエンテーションの宿泊ができず、学校での実施となりました。後輩が泊まっていたので自分達も泊まりたかった！との声があったのは知っていますが、学校でできる精一杯の内容にしたつもりです。許してください。また、校外授業はお台場、鎌倉、横浜に行き、探究活動を取り入れる新しい試みをしました。みんな積極的に取り組んでくれて面白い作品も作ってくれました。

二年次の修学旅行では、先生方で長時間話し合いプランを練りました。みんなにとっては携帯で写真を撮れたことが嬉しかったんじゃないかな（笑）。修学旅行が一番の思い出と回答したアンケート結果を見て、苦労した甲斐があったなあとし

しみじみ感じました。三年の最後には生徒達だけで企画・運営をする学年レクが実現できました。自ら考え動くことができる姿に成長を感じました。

入学式で保護者に話したことです。が、みんなに目標にしてほしいことは志望校への合格だけではありません。将来、「幸せに過ごすこと」が大切だと思っています。幸せの形はひとそれぞれです。本校で経験したことを生かして、自分の幸せの形を見つけてください。

あつという間の三年間でした。改めてたくさんさんの思い出をありがとうございます。みんなが鶴高の思い出を胸に大きく羽ばたいてくれることを確信しています。



令和6年度 総合型・学校推薦型選抜合格者報告会 進路指導部 谷口富太郎

1月25日（土）13時20分より、1・2年生の希望者を対象に、「令和6年度総合型・学校推薦型選抜合格者報告会」を開催しました。報告者は6名、受講者は109名で、昨年の4倍を超える参加者が集まり、入試に向けた意欲の高さがうかがえました。

3年生はパワーポイントの資料を活用し、それぞれ工夫を凝らした発表を行い、受講生徒はメモを取りながら真剣に耳を傾けていました。質疑応答も活発に行われ、非常に意義のある報告会となりました。

報告大学（発表順）

・国際基督教大学	教養学部	アーツ・サイエンス学科	<総合型>
・上智大学	経済学部	経済学科	<学校推薦型>
・同志社大学	経済学部	経済学科	<総合型>
・日本大学	芸術学部	音楽学科 弦管打楽コース	<総合型>
・慶應義塾大学	法学部	法律学科	<総合型>
・川崎市立看護大学	看護学部	看護学科	<学校推薦型>

主な報告内容

- ・入試概要（面接・小論文・課題・資格など）
- ・入試準備（受験を決めた時期・準備内容など）
- ・オープンキャンパス・入試説明会への参加（積極的な質問）
- ・部活動と勉強の両立
- ・1日の勉強時間（時間の使い方）
- ・学校の授業の大切さ
- ・全体的なアドバイス



カナダセメスター留学を終えて

カナダセメスター留学とは、カナダの公立高校にて8月～12月までの1学期間（セメスター）留学し、3学期から元の学年に復学するという留学制度です。海外の高校で4ヶ月間生活し、生きた語学力を身につけるとともに、国際的な資質を養うことを目的としています。

中島 結愛（2D・亀戸中）

カナダでの留学を通して、自分から積極的に動かないと友達ができないことを実感しました。カナダに着いた当初は英語があまり得意ではなかったのですが、「英語は自分で勉強するもの」であり、意思疎通の手段の一つ

だと考えを改めました。それ以降は英語を読むことや聞くことが苦ではなくなりました。また、学校のパーティーや様々な観光地を訪れるなど、普段できない貴重な体験をすることができました。今後もこの経験を活かしていきたいです。

伊東 愛莉（2I・松木中）

初めて訪れる地で慣れない英語を使いながら授業を受け、ホストファミリーと生活する毎日はとても難しいことでした。それでもこの経験が私を大きく成長させてくれたと今は実感しています。留学中に最も大切だと感じたのは、自分から一歩踏み出す勇気を持つことです。そうすることで、友達や先生、ホストファミリーから温かいサポートを得ること

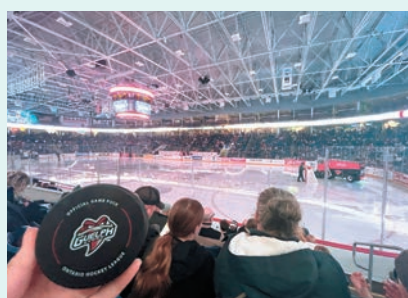
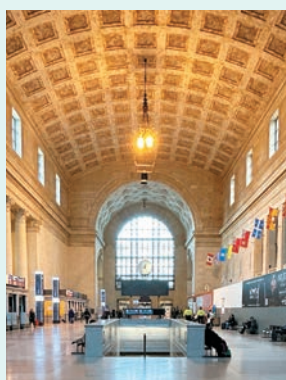
ができました。また留学先でクラブ活動として参加していたバンドでは、日本での経験を活かしてメンバーと教え合うこともでき、充実した時間を過ごせました。

日本人とは異なる価値観や生活習慣に触れることで、たくさんの新しい発見がありました。この留学で学んだことを忘れずさらに成長し続けたいと思います。

鈴木 葵（2J・桜丘中）

4ヶ月間のカナダ・セメスター留学を通して、語学力だけでなく、行動力やコミュニケーション能力、生活力も身につけることができました。現地でしか体験できない多くの貴重な経験を積み、異文化への理解や関心がより

一層深まりました。特にホストファミリーや現地の友人、ヨーロッパからの留学生と交流する中で、さまざまな価値観に触れ、視野が大きく広がりました。この留学で得た学びや経験を、今後の学びや将来の目標にしっかりと活かしていきたいと思います。



部活動報告

■スキー部

▽全国・関東高等学校スキー大会
京都予選会

(1/5～8 於：鹿沢スノーエリア)

女子スラローム

第4位 石井咲亜耶

(1 A・筑波大附属中)

第19位 山下小柚妃 (3 I・旭中)

第23位 山下 真矢

(2 D・菅生中)

第27位 大塚 美空

(2 A・茅ヶ崎中)

第29位 福村 果南

(2 F・桜木中)

第31位 中村 美蘭

(2 D・大泉二中)

男子スラローム

第7位 近藤 純太

(1 H・瀬田中)

第33位 中谷 優心

(3 B・高津中)

第47位 牛山 陽登

(3 H・西生田中)

女子ジャイアントスラローム

第7位 石井咲亜耶

第22位 山下小柚妃

第25位 山下 真矢

第31位 大塚 美空

第35位 福村 果南

第38位 中村 美蘭

男子ジャイアントスラローム

第5位 近藤 純太

第23位 中谷 優心

第49位 牛山 陽登

◆全国大会出場権獲得◆

石井咲亜耶

(女子スラローム・女子ジャイアントスラローム)

近藤 純太

(男子スラローム・男子ジャイアントスラローム)

◆関東大会出場権獲得◆

石井咲亜耶

(女子スラローム・女子ジャイアントスラローム)

牛山 陽登

(男子スラローム・男子ジャイアントスラローム)

大塚 美空

(女子スラローム・女子ジャイアントスラローム)

近藤 純太

(男子スラローム・男子ジャイアントスラローム)

中谷 優心

(男子スラローム・男子ジャイアントスラローム)

中村 美蘭

(女子スラローム・女子ジャイアントスラローム)

福村 果南

(女子スラローム・女子ジャイアントスラローム)

山下小柚妃

(女子スラローム・女子ジャイアントスラローム)

山下 真矢

(女子スラローム・女子ジャイアントスラローム)

■アメリカンフットボール部

▽第24回STICK BOWL (関東高校選
抜対抗戦)

(12/28 於：駒沢第二球技場)

東京都選抜チーム

(選手)

谷地 宙 (2 K・西宮中)

菅家幸太朗 (2 J・石神井西中)

関戸 悠 (2 D・墨田中)

堀岡 瑞生 (2 J・船橋希望中)

(マネージャー)

秋元 彩愛 (2 B・尾山台中)

中島 理愛 (2 H・中野七中)

吉田 柚 (2 J・南中野中)

(戦績)

東京選抜A 25 - 0 SICN選抜

東京選抜B 10 - 22 神奈川選抜

▽第14回NEW YEAR BOWL (関東
地区選抜・関西地区選抜対抗戦)

(1/12 於：富士通スタジアム川崎)

東京都選抜チーム

(選手) 菅家幸太朗

関戸 悠

(戦績)

東京選抜 42 - 0 滋賀・京都・東海選抜

■男子ソフトテニス部

▽新進団体選手権 (インドア予選) (11
/23、12/29)

ブロック

1 戦目 本校 3 - 0 戸山

2 戦目 本校 3 - 0 足立学園

2 回戦 本校 2 - 1 錦城

3 回戦 本校 0 - 2 清瀬

※男子団体ベスト16

■バトントワリング部

▽令和6年12月第28回シニアバトン

トワリングフェスティバル 出演

▽令和7年1月東京都バトン協会バ

トントワリングコンテスト世田

谷区大会

入門・初級 金賞受賞

前原芽莉紗 (1 B・井荻中)

入門・初級・中級金賞受賞

谷知日奈子

(1 H・横浜市立岡野中)

■放送部

▽第47回東京都高等学校文化祭 (地
区大会11/10、中央大会11/17)

【ビデオメッセージ部門】

第1位 Kendama2.0

制作代表

竹野 純 (2 E・美しが丘中)

※全国高等学校総合文化祭 (かが

わ総文祭2025) 出場決定

【オーディオメッセージ部門】

第3位 流れながれて

制作代表

鳥 亜津希 (2 H・菅生中)

【オーディオドラマ部門】

第2位 天空、香る。

制作代表

中村 心咲 (1 H・稲田中)

■料理部

▽おにぎりアクション参加 (11/15)

【チュモッパ、豚キムチーズトマト

おにぎり、チャーハンにぎり】

▽ケーキ講習 (12/16)

▽クリスマスケーキ受注 for ウェイト

リフティング部 (12/24)



短歌の部
佳作 松尾 樹乃 (二C・武蔵野四中)
小説の部
佳作 渡邊 涼葉 (二L・稲城五中)

「令和六年度日本大学付属高等学校等第四十一回文芸コンクール」の入賞者が決定しました。今年度は本校生徒が【短歌の部】で佳作(一名)、【小説の部】で佳作(一名)をいただくことが出来ました。入賞者の皆さん、誠におめでとうございます。

卒業生や在校生の皆さんにはコンクールに限らず、今後も国語力向上の一環として文芸への関心を高め、積極的に創作活動に励んでほしいと思います。国語科一同、皆さんの活動を引き続き応援していきます。

第四十一回文芸コンクール入賞者決定



第2学年沖縄修学旅行

